

## 「池之原小学校の古墳博士になろうの取組」

### 1 学校名

東串良町立池之原小学校

### 2 学年・人数

6年生（計59名）

### 3 日時・場所

学習会等の日時・場所

令和2年6月18日（木） 9時45分～11時30分

唐仁古墳群の学習（池之原小学校体育館・6年生の教室）

### 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

#### (1) 名称・時代

国指定史跡 唐仁古墳群（くにしていしせき どうじんこふんぐん）  
古墳時代

#### (2) 特徴

唐仁古墳群は1934（昭和9）年に指定された古墳群で、130基からなり、県下最大の規模を誇る。また、中心にある1号古墳（大塚古墳）は全長185m程あり、九州でも3番目に大きな古墳となっている。

### 5 保存会や地域との連携の具体

池之原小学校6年生を対象に総合的な学習で古墳時代についての理解を深めるために実施した。最初に、6年生全体へ社会教育課職員より写真や映像などを使い説明を行った後、各教室に分かれて唐仁古墳群についての調べ学習を行った。

### 6 活用の取組の工夫した点

唐仁古墳群は県下最大の古墳群であるにも関わらず、地域の人や、子供たちにあまり知られていないのが現状である。今回の学習会では、現地で古墳を見ることはできなかったが、写真や映像、実際に古墳から出土した遺物などを活用して調べ学習を行った。

## 7 取組の様子



体育館での全体学習の様子



社会教育課職員による説明

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

### 【教職員】

唐仁古墳群について、写真等を活用して詳しく教えていただいたので、子供たちも興味をもって学習を進めることが出来た。その後も、自主的に調べ学習をするなど、ふるさとについて意欲的に調べようとする子供も見られた。